

9月のブルーベリー農園その1（東広島市豊栄町）

農園のブルーベリーの摘みとりも例年だと9月に入っても援農の皆さんがお見えになるのだが、8月31日（土）

に計画していた摘みとりも中止せざるを得なくなったほど不作の年となった。9月に入って晴れて暑い日が続くようになったので、ブルーベリーも小粒だが甘さが増してきた。本当にお日様次第のブルーベリーを痛感。



9月7日（土）。暑さが戻ってきたが雲は初秋の形。



9月7日（土）。夏中ほったらかしだったジャーマンアイリスの畑の除草を1日（日）に続き行う。手作業で頑張っ全部の草を抜く。



9月8日（日）。かつて妻と子ども会の役員をしたこともあ

る友人が妹、姪御さんの3人でブルーベリーの摘みとりに来園。



すっかり少なくなったブルーベリーの実を探し探し摘み取る。時折吹く風が気持ちいいと言いながら目標のブルーベリーを摘み取ることができた。とれたてのブルーベリーで作ったジュースを飲みながら話に花が咲いた一日だった。



それでもまだ色づいていない実もあるが、農園全体では数十本でしかないだろう。今日で援農においで頂いた皆さんもおわり……。感謝。



始まったのは稲刈りと (9月8日)



コスモスや、(9月14日)



初秋のススキや



ツルゴなどの野の花 (9月14日)。
お礼のブルーベリーへの施肥や防草シートはがしや草刈りがこれから晩秋までの作業となる。



イワジャシンや、

2019年9月15日
社会福祉法人安芸の郷 理事長 遊川和良